

年間指導計画表

教科・科目	数学・数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ	単位数	6
		学科・学年・学級	普通科・普通 第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質、いろいろな式、図形と方程式及び三角関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書・副教材等	改訂版 数学Ⅰ・改訂版 数学A・改訂版 数学Ⅱ(数研出版), サクシード数学Ⅰ+A・数学Ⅱ+B(数研出版), チャート式 基礎からの 数学Ⅰ+A・数学Ⅱ+B(数研出版)

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、いろいろな式、図形と方程式及び三角関数における考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	観察、課題、小テスト 等	10%
b. 数学的な見方や考え方	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、いろいろな式、図形と方程式及び三角関数において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	観察、定期考査、基礎力テスト、実力テスト 等	30%
c. 数学的な技能	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、いろいろな式、図形と方程式及び三角関数において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	観察、定期考査、基礎力テスト、実力テスト 等	30%
d. 知識・理解	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、いろいろな式、図形と方程式及び三角関数における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	観察、定期考査、基礎力テスト、実力テスト 等	30%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
	4	8	数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 式の計算 整式 整式の加法と減法 および乗法 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の計算や因数分解などの考え方に興味をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 ・既知の事項をもとにして複雑な計算や因数分解を考察することができる。 ・具体的な問題に対して、整式の計算や因数分解の考えを利用することができる。 ・整式の計算や因数分解に関わる公式を理解し、利用できる。 	○			
		5	第2節 実数 実数 根号を含む式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・実数や根号を含む式の考え方に興味をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 ・既知の事項をもとにして実数や根号を含む式の複雑な計算を考察することができる。 ・具体的な問題に対して、実数や根号を含む式を計算したり、その考えを利用することができる。 ・実数や根号を含む式に関わる用語、記号、公式を理解し、利用できる。 	○			

前期

5	4	第3節 1次不等式 1次不等式 1次不等式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・1次不等式の考え方に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 ・既知の事項をもとにして1次不等式を考察することができる。 ・具体的な問題に対して、1次不等式の考えを利用することができる。 ・1次不等式に関わる用語、記号、公式を理解し、利用できる。 	○		○		○	
	6	第2章 数と式 集合 命題と条件 命題と証明	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の考え方や命題に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 ・既知の事項をもとにして、集合の考えや証明の方法を考察することができる。 ・具体的な問題に対して、集合の考えを利用したり、証明することができる。 ・集合、命題に関わる用語、記号、公式を理解し、利用できる。 	○		○		○	
	12	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 関数とグラフ 2次関数のグラフ 2次関数の最大最小 2次関数の決定	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数とグラフの考え方に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 ・既知の事項をもとにして、2次関数を考察することができる。 ・具体的な問題に対して、2次関数の最大最小や2次関数の方程式を利用することができる。 ・2次関数に関わる用語、記号、公式を理解し、利用できる。 	○		○		○	
	12	第2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式 グラフと2次方程式 グラフと2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式・2次不等式の考え方に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 ・既知の事項をもとにして複雑な2次方程式・2次不等式を考察することができる。 ・具体的な問題に対して、2次方程式・2次不等式とグラフの考え方を利用することができる。 ・2次方程式・2次不等式に関わる用語、記号、公式を理解し、利用できる。 	○		○		○	
	5	数学A 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 三角形の辺の比 三角形の外心、内心、重心 チェバの定理、メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線 2つの円の位置関係 作図	<ul style="list-style-type: none"> ・外心、内心、重心、チェバの定理、メネラウスの定理などに関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 ・既知の事項をもとにして複雑な図形の性質を考察することができる。 ・具体的な問題に対して、図形の性質を利用することができる。 ・図形の性質に関わる用語、記号、公式を理解し、利用できる。 	○		○		○	
	6	2	第2節 空間図形 直線と平面 多面体	<ul style="list-style-type: none"> ・多面体などに関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 ・既知の事項をもとにして複雑な空間図形の性質を考察することができる。 ・具体的な問題に対して、空間図形の性質を利用することができる。 ・空間図形の性質に関わる用語、記号、公式を理解し、利用できる。 	○		○		○
	4	数学I 第4章 図形と計量 第1節 三角比 三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の考え方に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 ・既知の事項をもとにして三角比の拡張や相互関係などを考察することができる。 ・三角比を用いて、直線とx軸とのなす角やピルの高さを求めるなど、具体的な問題に対して、三角比の考えを利用することができる。 ・三角比に関わる用語、記号、公式を理解し、利用できる。 	○		○		○	
	2		第1回考査			○	○	○	
	計60								

1	12	13	第2章 複素数と方程式 複素数 2次方程式の解と判別式 解と係数の関係 剰余の定理と因数定理 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 複素数、剰余の定理、因数定理などの考え方に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 既知の事項をもとにして、複雑な方程式の計算を考察することができる。 具体的な問題に対して、解と係数の関係や、剰余の定理などの考えを利用することができる。 剰余の定理などに関わる公式を理解し、利用できる。 	○		○		○
		8	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の関係	<ul style="list-style-type: none"> 直線の方程式などの考え方に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 既知の事項をもとにして、複雑な直線を考察することができる。 具体的な問題に対して、直線の方程式の考えを利用することができる。 直線の方程式に関わる公式を理解し、利用できる。 	○		○		○
	8	第2節 円 円の方程式 円と直線 2つの円	<ul style="list-style-type: none"> 円の方程式などの考え方に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 既知の事項をもとにして、複雑な円、直線を考察することができる。 具体的な問題に対して、円の方程式の考えを利用することができる。 円の方程式に関わる公式を理解し、利用できる。 	○		○		○	
	9	第3節 軌跡と領域 軌跡と方程式 不等式の表す領域	<ul style="list-style-type: none"> 軌跡、領域の考え方に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 既知の事項をもとにして、複雑な軌跡、領域を考察することができる。 具体的な問題に対して、軌跡、領域の考え方を利用することができる。 軌跡、領域に関わる公式を理解し、利用できる。 	○		○		○	
	7	第4章 三角関数 第1節 三角関数 一般角と弧度法 三角関数 三角関数の性質 三角関数のグラフ 三角関数の応用	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数の考え方に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 既知の事項をもとにして、複雑な三角関数を考察することができる。 具体的な問題に対して、三角関数の考え方を利用することができる。 三角関数に関わる公式を理解し、利用できる。 	○		○		○	
	13	第2節 加法定理 加法定理 加法定理の応用 三角関数の合成	<ul style="list-style-type: none"> 加法定理、合成の考え方に関心をもつとともに、それらのよさを認識し活用しようとしている。 加法定理、合成の考え方をもとにして、複雑な問題を考察することができる。 具体的な問題に対して、加法定理、合成の考え方を利用することができる。 加法定理、合成に関わる公式を理解し、利用できる。 	○		○		○	
3	2		第4回考査			○	○	○	
		計60							

【その他】

以下のような学習サイクルをつくること。

